

1. 事業の概要

富山県教育大綱
(H28.3 策定)

社会で生きる実践的な力の育成

- ・ICTを活用するなど、児童生徒の情報活用能力を育成

教員の資質向上

- ・デジタル教材の活用や研修会等の利用による教員のICT活用指導力の向上

第3期教育振興基本計画
(H30.6 閣議決定)

ICT利活用のための基盤の整備

- ・情報活用能力の育成
- ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に向けた各教科等の指導におけるICT活用の促進
- ・基盤となる学校のICT環境整備の促進

情報活用能力

- ・必要な情報を収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況を踏まえて発信・伝達できる能力
- ・情報の科学的理解や情報社会に参画する態度を含む

ICT教育推進事業

①実践校へのタブレット端末等ICT機器配備と無線LAN環境整備

1校につき、
タブレット端末 高校 42台、特別支援学校 20台
プロジェクタ 高校 全普通教室分、特別支援学校 9台
実物投影機 3台
無線LAN装置 高校 全普通教室＋展開教室3室分(特別支援学校は公衆無線回線利用)

②ICT活用サポートデスクの設置

機器トラブル等への対応支援

- ・ICT支援員の派遣
- ・相談窓口の設置

③実践校における推進体制の構築とICT活用研修の整備

2. 今年度までの進捗状況

○全県立学校への統一整備

- ・実践校を42校に拡大(昨年度＋15校)

整備状況	タブレット端末台数			プロジェクタ台数			無線LAN整備教室数		
	高校	特別支援学校	合計	高校	特別支援学校	合計	高校	特別支援学校	合計
平成28年度	40	0	40(+40)	6	0	6(+6)	6	0	6(+6)
平成29年度	440	20	460(+420)	204	9	213(+207)	204	9	213(+207)
平成30年度	944	80	1024(+564)	344	36	380(+167)	380	9	389(+176)
令和元年度	1322	200	1522(+498)	457	90	547(+167)	520	9	529(+140)

H30年度以降、公衆無線回線を利用する整備方式に変更

○南砺福野高校国際科(R2.4新設)へのタブレット端末1人1台環境の整備

- ・タブレット端末34台を配備(生徒用30台＋予備2台、教員用1台＋予備1台)
- ・今年度末に配備することにより、入学当初から活用が可能

3. 文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」結果

(注) H30年度は速報値データ

①本県公立学校におけるICT環境の整備状況

※()内は全国順位

調査項目		H26年度【H27.3】	H27年度【H28.3】	H28年度【H29.3】	H29年度【H30.3】	H30年度【H31.3】
教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数[人]	富山県	5.9 (24位)	5.9 (24位)	5.8 (27位)	5.5 (28位)	5.3 (31位)
	全国平均	6.4	6.2	5.9	5.6	5.4
普通教室の校内LAN整備率[%]	富山県	94.9 (8位)	94.9 (11位)	93.6 (14位)	95.0 (12位)	93.9 (14位)
	全国平均	86.4	87.7	89.0	90.2	89.6
普通教室の無線LAN整備率[%]	富山県	—	—	5.7 (47位)	12.9 (45位)	23.2 (42位)
	全国平均	—	—	29.6	34.5	40.7
普通教室の大型提示装置整備率[%] (H28.29年度は電子黒板整備率)	富山県	—	—	19.7 (26位)	23.9 (22位)	54.5 (20位)
	全国平均	—	—	24.4	26.8	51.2

②本県公立学校教員のICT活用指導力(「できる」「ややできる」と回答した割合)

※()内は全国順位

調査項目		H26年度【H27.3】	H27年度【H28.3】	H28年度【H29.3】	H29年度【H30.3】	H30年度【H31.3】
授業中にICTを活用して指導する能力[%]	富山県	78.7 (10位)	80.5 (10位)	80.5 (11位)	81.4 (12位)	74.8 (10位)
	全国平均	71.4	73.6	75.0	76.6	69.7
児童・生徒のICT活用を指導する能力[%]	富山県	71.2 (10位)	72.6 (10位)	71.6 (12位)	71.9 (13位)	75.2 (9位)
	全国平均	65.2	66.2	66.7	67.1	70.2
情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力[%] (～H29年度は情報モラルなどを指導する能力)	富山県	79.6 (16位)	80.8 (17位)	80.6 (23位)	81.5 (21位)	82.5 (17位)
	全国平均	77.7	78.9	80.0	80.6	80.5

活用場面例が提示されたことにより減少(H30年度調査より)

「校内研修等を受ければ、コンピュータや提示装置を活用して資料などを提示することができる」→「あまりできない」に分類され、指導力があるとは見なされない。

底上げが必要

4. 来年度の取組みの方向性

(1)全県立学校(56校)ICT環境整備の確実な実施と、次期整備方針(令和2年度～)の検討

文部科学省「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画(2018～2022年度)」

2022(令和4)年度までの整備目標

- ・学習者用コンピュータ … 3クラスに1クラス分程度整備
- ・指導者用コンピュータ … 授業を担当する教師1人1台
- ・大型提示装置 … 100%整備(各普通教室1台、特別教室用として6台)

1日1コマ分程度、児童生徒が1人1台環境で学習できる環境

(2)実践校による公開授業・研究協議会、および県教委主催の研修会の実施(事業継続)

- ・授業の質的改善に向けた県全体での実践事例の共有化
- ・校内リーダーの育成

(3)ICT活用サポートデスクの設置(事業継続)

- ・ICT支援員の配置継続(実践校に対し、ICT機器配備の翌年度に配置)

(4)デジタル教材の導入に向けた検討

- ・デジタル教科書(指導者用、学習者用)の調査・研究
- ・情報活用能力育成の中核をなす教科「情報」プログラミング教材の作成および対象教員への研修実施

令和4年度から生徒全員が学習

環境整備

活用指導力